

教会からのオススメの一冊

「キング牧師の言葉」

コレッタ・スコット・キング 編／梶原寿・石井美恵子 訳
(日本基督教団出版局発行)

マーティン・ルーサー・キング牧師(1929-1968)は、おそらく世界で最も有名な牧師の一人でしょう。彼は、39歳の若さで凶弾に倒れるまで、黒人たちの自由を訴え続けました。今回で紹介する「キング牧師の言葉」は、彼の妻、コレッタ・スコット・キング夫人が筆をとり、彼が語った言葉をまとめたものです。

「正義と自由」、「非暴力」、「平和」などのテーマに分けられ、読みやすく編集されています。そして最後には、暗殺される前日に語ったスピーチと、有名な「私には夢がある」のスピーチも収められています。

これを読むと、キング牧師がいかにか、人を差別し軽蔑することを憎み、奪われてきた自由を獲得するために闘っていたかがわかります。また、彼の言葉の端々に、彼の根ざす信仰が貫かれていたと感ずることができます。

彼が亡くなってから70年近くの時が流れた今日でもなお、人は変わらず互いに憎み合い、傷つけ合い、奪い合っています。

「すべての谷は引き上げられ、すべての山や丘は低くなる。曲がったところはまっすぐになり、険しい地は平らになる。このようにして主の栄光が現されると、すべての肉なる者がともにこれを見る」。これは、「私には夢がある」のスピーチの中で引用されている聖書の言葉です。単なる政治や上辺だけの平和が求められているのではなく、私たちの心が平和な状態になっているかが問われているのです。人が誰かを憎み、恨み、互いに傷つけ合う本当の原因は、その心の中に平和がないからです。私たち一人一人が自分の心の中に目を向けることから、本当の平和は始まっていくのです。キング牧師は、そんなメッセージを込めて、あのスピーチを語ったのではないのでしょうか。



Question 11 教会によせられた質問にお答えします。

「狭き門」という表現は聖書に由来しているのですか

「〇〇の試験は倍率が高く、「狭き門」となっています」というように、受験や就職などで競争相手が多い状況を指してよく使われる表現ですね。この「狭き門」という表現の由来は、確かに聖書です。でも、意味は全く異なっています。

新約聖書のマタイの福音書に、こうあります、「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。いのちに至る門はなんと狭く、その道もなんと細いことでしょう。そして、それを見出す者はわずかです」。

イエス・キリストが語られた言葉です。ここにはっき

り言われている通り、「狭い門」とは、滅びに至る広い門に対比された、「いのちに至る門」、つまり、キリストの救いのことです。わざと狭くされているわけではありません。滅びに至る門に入っていく人があまりにも多いために、結果的に狭くなっていると言わざるを得ないのです。確かに、キリストの救いは、見出す者がわずかなほど狭いのですが、それを見出し、その門をくぐってキリストを信じたなら、永遠のいのちの約束が与えられます。

本当の「狭き門」は、キリストのもとにあります。あなたはどちらの門を選びますか。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com



礼拝 毎週日曜日
10:30~11:40

希望のダイヤル (聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



わたしを仰ぎ見よ

今年の冬は、いつもより寒いような気がします。先月は、北日本を中心に大雪が降って、孤立する町が出たり、亡くなる方がおられたりと、大きな被害が生じました。

雪というと、イギリスの名説教家ス波尔ジョンが回心したときの話を思い出します。若かりし頃、彼は心に平安が無く、悩んでいました。ある日曜日、大雪になり、いつも通っている教会に行けず、ますます落ち込んでしまいました。たまたま横町の小さな教会を見つけ、中に入り、一番後ろのベンチに腰掛け、うなだれていました。出席者はまばらです。礼拝が始まる時間になっても、牧師も現れません。彼は、もう帰ろうかと思いました。

ところが、一人の年輩の信徒が、講壇に上がって聖書を読み始めました。彼は、イザヤ書を開き、45章22節を読み上げました。「地の果てのすべての者よ。わたしを仰ぎ見て救われよ。わたしが神だ。ほかにはいない。」

そして、大声で、「仰げ、仰げ、仰ぎ望め」と叫び、さらに、「そこの隅に座っている青年よ、仰ぎ望め」と、ス波尔ジョンを指さして叫んだのです。

ス波尔ジョンは初めて分かりました。「そうだ、イエスを仰ぐのだ、そうすれば救われるのだ」と。彼は、その時、十字架のキリストを仰ぎ、信じて救われたのです。

私たちは、神に対して罪を犯し、滅び行く者となっていました。傲慢で、妬み深く、自己中心です。そこから救われる道は、イエス・キリストの十字架によるほかありません。キリストは罪のない神の子でしたのに、私たちの身代わりに、十字架で血を流し、命を捨ててくださいました。私たちが罪を悔い改め、キリストの十字架がこの私のためだったと信じるなら、どんな罪も赦され、救われます。

私たちが一生懸命努力をして、自分の罪に解決を見いだすのではないのです。キリストを仰ぎ見て、赦していただくのです。このように救ってくださる神様は、ほかにはありません。

あなたは、今、悩んでおられません。平安がほしいと求めておられません。キリストは、「わたしを仰ぎ望め」と言われます。キリストの十字架を仰ぎ見て、信じて、この救いをいただけてください。神様は、必ずあなたを救い、祝福の道へと導いてくださいます。



「パンジー」 — ^{さんしきすみれ}三色堇 —

パンジーは 春の花壇で最も多く見られる花で
チューリップとともに 春の花を代表する花である

原産は ヨーロッパに自生する野性のスミレで 改良された園芸品種である
300年程の改良の歴史がある

日本には 幕末の1864年頃 渡来したと言われている
^{ゆうちょうか}遊蝶花とか ^{こちょうか}胡蝶花とよばれたという

今は いろいろな花色があるが
もともとは 白 黄 紫の三色の花であった
それで ^{さんしき}三色スミレとよばれた

花が少し傾いて咲く姿から 物思いにふける人の顔を連想して
フランス語のパンセ（思う 考えるの意）となり
パンジーという英名ができたという

ヨーロッパでは 紫色のパンジーの花束を贈って 愛の心を伝えたそうだ

暑さには弱いが 寒さには強い花である
寒いこの時期 黄 赤 白 青 紫など 様々な色で
花壇や鉢植えを賑やかにしてくれる パンジーである

呼びかける声がある 主のために 荒れ野に道を備え
わたしたちの神のために 荒れ地に広い道を通せ
草は枯れ 花はしぼむが
わたしたちの神の言葉は とこしえに立つ

イザヤ40章（聖書）